

## 委託業務の実施状況の概要

平成24年度「環境保全戦略講座（重点分野）」  
持続可能なエネルギー社会の構築に向けた  
NGO・NPOの戦略／協働／ネットワークの構築・強化に向けて

### (1) 目的・趣旨

東日本大震災・福島原発事故以降、NGO・NPOの環境・エネルギー問題に関する活動の影響力は、増大している一方、課題改善の余地も多く残されています。

持続可能なエネルギー社会の構築に向け、政策担当者・事業者・生活者等との協働（パートナーシップ）、NGO・NPO間のネットワークを強化することで、さらに効果的な活動を行い、支援を拡大するチャンスを飛躍的に高められる可能性があります。

本講座は、各セクターの第一線で活躍する講師を招き、NGO・NPOの役割・可能性を多角的に検証しつつ、戦略／協働／ネットワークの構築・強化をともに考え・学び、新たなアイデア・人材の育成を支援します。

### (2) プログラム概要

#### ①開催日時：＜東京開催＞

2012年11月10日（土）13:00～19:00、11月11日（日）10:30～18:00

#### ＜福島開催＞

2012年12月22日（土）13:00～19:00、12月23日（日）10:30～18:00

#### ②会場：＜東京開催＞

ハロー貸会議室 水道橋1（〒101-0061 東京都千代田区三崎町2丁目22-18  
TK-WESTビル1号館6F）

#### ＜福島開催＞

佐平ビル貸会議室（〒960-8034 福島県福島市置賜町1-29）

#### ③対象者及び参加人数：

対象者：持続可能なエネルギー社会構築のための活動を行っているNGO・NPOのリーダー・スタッフ・ボランティアの方。あるいは、将来、リーダー・スタッフを目指す方。

参加人数：＜東京開催＞関東・東北・九州より一般参加者30名。

＜福島開催＞関東・東北・近畿・九州より一般参加者21名。

#### ④開催プログラム及び講師：

＜11月10日（東京開催）、12月22日（福島開催）＞

「持続可能なエネルギー社会構築に向けたNGO・NPOの活動の可能性・課題・  
新たなるアイデアー日本・世界の取組み・制度の最新動向とNGO・NPOの役割ー」

13：00～オリエンテーション 13：20～講演

17：20～ワークショップ 18：10～ワークショップ成果の発表と全体でのまとめ

19：30～交流会

<2日目：11月11日（東京開催）、12月23日（福島開催）>

「先進的活動の秘訣を知り、戦略と具体策をブラッシュアップする一ワンランク上を行く活動戦略」

10：30～1日目の振り返り 11：00～講演

15：10～ワークショップ 17：00～ワークショップ成果の発表と全体でのまとめ

講師：

<東京開催>

土居健太郎氏（環境省地球環境局低炭素社会推進室長）

山下 紀明氏（環境エネルギー政策研究所主任研究員）

足立 治郎（「環境・持続社会」研究センター事務局長）

山田 太雲氏（オックスファムジャパン アドボカシーマネージャー）、

田辺 有輝（「環境・持続社会」研究センター プログラムコーディネーター）

中口 毅博氏（環境自治体会議環境政策研究所所長）

山口 勝洋氏（サステナジー株式会社代表取締役）

坂本 文武氏（立教大学21世紀社会デザイン研究科准教授）

<福島開催>

浜中 裕徳氏（公益財団法人地球環境戦略研究機関理事長）

松原 弘直氏（環境エネルギー政策研究所主任研究員）

足立 治郎（「環境・持続社会」研究センター事務局長）

山田 太雲氏（オックスファムジャパン アドボカシーマネージャー）

田辺 有輝（「環境・持続社会」研究センター プログラムコーディネーター）

増原 直樹氏（環境自治体会議環境政策研究所副所長）

中尾 敏夫氏（サステナジー株式会社岩手担当）

星野 珙二氏（福島大学教授）

桜井 高志氏（桜井・法貴グローバル教育研究所代表）

※役職は講座開催時

### (3) 実施概要

1日目は、オリエンテーションの後、まず、環境省低炭素社会推進室長の土居氏（福島開催では元環境省地球環境審議官の浜中氏）より「エネルギー・環境政策の全体像」に関し、お話をいただきました。その後、国内外の政策動向とNGO・NPOの役割に関する4つの講演（山下氏〈福島開催では松原氏〉による「再生可能エネルギー政策動向等」、足立による「エネルギー税財政改革動向等」、山田氏による「貧困層へのエネルギーアクセス等」、田辺による「エネルギー事業における環境社会配慮等」）を実施。

その後、坂本氏（福島開催では桜井氏）のファシリテーションのもと、ワークショップを実施しました。参加者各自に所属団体の強みと弱みをワークシートに記入していただいた後、グループワークを開始。それぞれの団体が抱える課題を共有しつつ、異なる経験・知見を有する参加者の間で課題解決・活動強化のためのアイデア出し・具体策の検討を行っていただきました。

最後に、全体で、ワークショップ成果の発表・講師からのコメント・全体のまとめを行いました。

2日目は、1日目の振返りの後、中口氏（福島開催では増原氏）および山口氏（福島開催では中尾氏）より、「自治体とNGO・NPOの協働事例」および「企業とNGO・NPOの協働事例」等をご紹介いただきました。その後、坂本氏（福島開催では星野氏）より「NGO・NPOの組織マネジメント・資金調達」についてお話をいただきました。その後、ワークショップを実施。参加者の実際の活動事例を題材に、課題を整理しつつ、課題克服のための戦略（特に、協働強化戦略）と具体策を検討。グループごとに、新たに考えられた他団体との協働に向けた具体策を模造紙にまとめました。

その後、全体でワークショップ成果の発表を行いました。「再生可能エネルギー推進のためのNGO・NPOと企業等との協働の場作り」、「地域におけるエネルギー自立に向けた森林バイオマス活用の林業者・行政・家庭・NGO/NPOの協働モデル」、「農地活用による再生可能エネルギー事業推進に向けたネットワーク構築」、「震災復興（経済的自立・精神的安定も含む）と持続可能なエネルギー社会構築の同時達成事業モデル」、「自治体・NPO/NGO・企業・大学ネットワーク化による地域創エネ・蓄エネ・省エネビジネス創出」等、様々な提案が生まれました。

最後に講師・参加者全員で、NGO・NPOが政策担当者・事業者・生活者・他のNGO・NPO等との協働を強化しつつ活動をレベルアップさせるための戦略等に関し、意見交換・まとめを行いました。

アンケート等を通じ、講座参加者より、今回の講座に対し、「非常に多くのことを学ばせていただいた。得たことを明日から自団体の活動に活かしていく」、「自分の専門分野と違う人の話を聞くことが出来たことは大きかった」、「NGO/NPOの社会における役割について明確に理解できた点、多様な主体を巻き込んでNPOが未来に対するイメージを明確にし、その実現に義務を負っている点、これらを学べたことが非常に有意義だった」、「団体の弱い部分を知ることができた」、「再生可能エネルギーに関する日本各地の取組み事例を知ることができた」、「自治体との連携について参考になる情報が得られた」、「ワークショップでは振返りが出来てよかった。一番濃い時間になった」、「いい企画だった。特に坂本さんのまとめと、NPO/NGOの話が良く、参考になった」、「とても良い学びと出会いがあった」、「内容が素晴らしく、非常に参考になりました」、「とてもよかった、また参加したい」等の声をいただくことができました。

また、講座参加者より、今後への期待として、「再生可能エネルギー事業者のネットワークを強化するための、複数回に及ぶイベント等を実施してほしい」等の声もいただくことができました。

今後へのアイデアとしては、「再生可能エネルギー推進のためのNGO・NPOと企業等との協働の場作り」、「地域におけるエネルギー自立に向けた森林バイオマス活用の林業者・行政・家庭・NGO/NPOの協働モデル」、「農地活用による再生可能エネルギー事業推進に向けたネットワーク構築」、「震災復興（経済的自立・精神的安定も含む）と持続可能なエネルギー社会構築の同時達成事業モデル」、「自治体・NPO/NGO・企業・大学ネットワーク化による地域創エネ・蓄エネ・省エネビジネス創出」、「NPOへの資金提供をサポートするポータルサイト立ち上げ」等が出されました。

今回の講座に対し、行政やマスメディアからの反響もありました（福島市からの依頼や福島民友新聞による報道等）。また、今回の講座を機に、参加者から講座のお陰で新規資金調達に成功したとの報告をいただくとともに、参加者・講師・当センター間での協働の取組みも始まっています。講座参加者の今後の取組みが期待され、当センターも積極的に協力・貢献していきます。

#### (4) 当日の写真

講演の様子<東京開催>



講演の様子<福島開催>



「ワークショップ」の様子<東京開催>

